

# 難民についての教材活用セミナー

## 場所・日程

11/10(日) 13:30～18:30(開場13:00)

第1部13:30～17:10 第2部17:20～18:30 ※どちらかのみ参加も可能

会場：名古屋経済大学 名駅サテライトキャンパス 10階ホール  
(名古屋市中村区名駅4-25-13)

協力：市邨学園 後援：愛知県教育委員会 JICA中部

## 目的

現場の教職員や教職を志す学生をはじめとしたご関心をお持ちの方々を対象に、探求的な時間や人権教育、キャリア教育における活用、グローバル人材の育成やアクティブラーニングへの貢献を目的として、難民問題やUNHCRについての基礎知識に加え、当協会が開発した『いのちの持ち物けんさ』と『あるものないものワークショップ』の実践方法の伝達を行います。

また、ワークショップ実施をサポートしている学生団体SOARと教育現場との連携を強化し、相互に実践とディスカッションを重ね、今後のさらなる教材の進化を目指します。教職員や大学生の皆様だけでなく、自分に何ができるか積極的に学びたい中高生の皆様や一般の方々も奮ってご参加ください

## 内容

### 第1部

- ・ご挨拶及び参加者自己紹介
- ・2つのワークショップ
- ・『いのちの持ち物けんさ』実践
- ・『いのちの持ち物けんさ』解説
- ・『あるものないものWS』解説
- ・その他解説及び質疑応答
- ・難民問題とUNHCRの基礎知識
- ・UNHCRと難民問題の現状
- ・学習を深める視点とツール
- ・質疑応答

### 第2部

- ・第1部ふりかえり
- ・ディスカッション(授業作成)
- ・個別質疑応答&参加者交流



## 『いのちの持ち物けんさ』とは

【喪失の疑似体験】を通じて生まれるく【自分への気づき】を元にして、難民の人たちの心の痛みに寄り添うために「自分にできることは何か」を考えるきっかけをつくること、難民について知ってもらうことを目的としたワークショップ。  
付箋とワークシートを使用したグループワークで、中高生以上推奨。

## 『あるものないものワークショップ』とは

難民の人々の現状に関する写真から【難民にないもの】  
【難民にはあっても私たちにないもの】  
【難民にも私たちにもあるもの】  
について考え、自分たちや日本の社会が、現在そして未来においてできることを導き出していくワークショップ。  
小学校高学年から中学生推奨。

## お申し込み方法

参加費無料 / 先着順の事前申込制(定員：40名になり次第締切)

国連UNHCR協会ホームページに設ける「難民についての教材活用セミナー2019秋」専用サイト <http://www.japanforunhcr.org/archives/15530/> で詳細をご確認のうえ、お申し込みください。



「難民についての教材活用セミナー」実施の様子(2019年夏)

## お問い合わせ先

国連UNHCR協会 広報啓発事業担当 school@japanforunhcr.org (天沼)  
〒107-0062 東京都港区南青山6-10-11 ウェスレーセンター3階  
TEL: 070-3869-1763 FAX: 03-3499-2273 www.japanforunhcr.org



難民を守る。難民を支える。  
国連UNHCR協会

### ■特定非営利活動法人国連UNHCR協会とは

UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)は1950年に設立された国連の難民支援機関です。紛争や迫害により故郷を追われた難民・避難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に対して働きかけています。1954年と1981年にノーベル平和賞を受賞。スイス・ジュネーブに本部を置き、約135カ国で援助活動を行っています。この国連の難民援助活動を支えるため、広報・募金活動を行う日本国内における公式支援窓口が、国連UNHCR協会です。

### ■学生団体SOAR (Students' Organization Assembled for Refugees) とは

国連UNHCR協会のインターンシップを経験した学生を中心に設立された学生団体です。教育機関や団体に対し、難民問題に関する出張授業を実施しています。